

平成23年3月31日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人イコールネット仙台

事業名 「女の手帳」編集講座～仙台の女たちがつながるとっておきの手帳をつくろう～

助成金を使って行った事業について、記述してください。

（活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）

1. 2010年5月

「女の手帳」編集講座 仙台の女性たちがつながるとっておきの手帳をつくろう！

編集委員募集（定員15名）

18名の編集委員が集まり、講座をスタート、

編集委員構成（主婦・働く女性・NPO活動に取り組む女性・子育て中・シングル女性など。
年代も20代～60代までと幅広い）

2. ベースとなる連続講座を4回開催

① 6月11日（金）18:30～20:30 会場：エル・パーク仙台創作アトリエ

*オリエンテーション

*自己紹介ワークショップをグループ単位で行った。

相互に共通点、相違点を出し合いながら仲間と知り合う。今後、手帳づくりをすすめる上で、仲間意識は大変重要。知り合うワークショップは効果的。

*手帳のイメージを出し合う。（デザイン・サイズ・内容など）

手帳への熱い思いをもった女性たちIT時代にあってアナログ手帳に魅力を感じる女性たち。デザイン、使い勝手、こだわりなどが次々と出された。

② 6月26日（土）13:30～15:30 会場：エル・パーク仙台和室

*インタビューゲーム

2人組で、各々、相手の夢中になっていることや暮らしぶりなどをインタビューし合う。手帳に掲載する情報収集に必要な取材。仲間への取材を体験し、そのコツを理解する。

*4グループに分かれ、企画のアウトラインを話し合う。装丁は？デザインは？カレンダーは？などなど。

課題は・・・内容になかなかたどりつけない。コンセプトの女性の視点とは？が見えてこない。

グループ毎に、課題について検討し、プレゼンテーションをして最終の手帳企画を決定することにした。



助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

③ 7月9日(金) 18:30~20:30 会場: エル・パーク仙台創作アトリエ

- * グループ単位で、手帳の企画案を話し合う。
プレゼンテーションに向けて準備をすすめる。
コンセプトの「仙台の女たちがつながるとっておきの手帳を！」大切にすることがポイント。



④ 7月24日(土) 13:30~15:30

会場: エル・パーク仙台創作アトリエ

- * グループ毎のプレゼンテーション

- ① 成長するページ⇒自分サイズの書き込み式ページを盛込む
- ② 心とからだのメンテナンス⇒女性のための相談窓口紹介など
- ③ 仲間紹介や施設情報⇒グループや施設情報など

- * 講師兼審査員である佐藤理絵さん(河北新報社)から、最終企画決定までに以下の点を検討する必要ありとのアドバイスがあった。

- ☆ 思いきって情報を整理 ☆ 情報に個性 ☆ 手帳を成長させていく工夫を ☆ 顔が見える企画に



⑤ 8月9日(月) 18:30~20:30 会場: エル・パーク仙台創作アトリエ

プレゼンテーションで出された各企画を活かした手帳構成に。

担当を決めグループ再編成。

- 内容構成: 1) 女性情報(病院・相談窓口などの紹介)
2) 施設・グループ紹介
3) 成長するページ(自分の変化を書き込むページ)
4) カレンダーに個性を

⑥ 8月31日(火)~

担当毎の作業に入る。

- ・ 企画内容についての具体的作業
取材先を検討・決定 担当決め

助成を使って行った事業について、記述してください。(続き)

- ⑦ 9月18日(土) 14:00~16:00 会場：仙台市市民活動サポートセンター
研修：レイアウト・デザインの作り方について
講師：佐々木はるさん(ディレクター\$ライター)
改めて、目的は？ ターゲットは？ ティストは？などを考え直す基本に立ち返る作業になった。
- ⑧以降は、グループ毎に取材・原稿作成に着手
取材依頼の方法・電話対応の心構えなどについて話し合う。
取材・原稿作成・原稿手直し・取材先確認などの工程を経て印刷所へ入稿。
- ⑨編集委員はメーリングリストで原稿の確認や進行状況を連絡し合う。
- ⑩校正数回
- ⑪ 2月28日完成
- ⑫ 3月2日手帳完成

「女の手帳 2011
フェミ・ノート」



今回の助成事業には、どのような形で、複数の団体の協働やボランティアの参加がありましたか？ 具体的に記述してください(人数、関わりの内容、参加者の感想など)

18名のさまざまな暮らし方をしている編集委員が集まったことは、編集委員自身にとっても新鮮な出会いだったと思う。取材先は、病院関係・企業・公共施設・公共機関・各種グループなど50件に及んだ。取材先との関わり方についても、連絡の取り方・趣旨の伝え方・取材内容・方法・原稿作成後の確認などプロセスを経験することで、編集委員にとっては、さまざまな訓練の場となった。こうしたプロセスを経験することで、編集委員同士に仲間意識も育ち、互いに支え合いながら、困難も乗り越える関係を築くことができた。女性たちのエンパワーメント。さらなる次のステップへの期待につながった。取材に応じてくれた団体・各種機関など、また手帳を購入してくれたユーザーの間に、この手帳が広く活用されていくことで、広がりの可能性が期待できるものと思っている。

=参加者の感想=

- ☆仕事でもなく、趣味でもなく、何かを作り上げるために集まる・活動するのは初めてで、ワクワクドキドキでした。私の心のイメージは、まさに完成した手帳のピンクでした。出会った人・人・人の皆があたたかく、様々なことを親切に教えてくれました。手帳を作り上げる作業は“すべきこと”を学べる充実した時間でした。
- ☆取材内容や原稿作成などお互いにメールし合いながらすすめたことで、一人で取材に行っても仲間とやっていると感じることができた。
- ☆すごく楽しかったです。取材に入るまでが長かった。取材に入ってから時間が短かった。取材を通してもっといろいろな人と出会いたかった。
- ☆途中で本当に完成できるのか不安に思うことがありましたが、チームワークで乗り切った部分が多かったと思います。ここからさらに縁が広がればステキですね。
- ☆作成プロセスの中で、意見のすり合わせが大変だと思いましたが、ようやく完成にこぎつけ、充実した手帳が出来上がり良かったです。

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。

●申請書に記載した成果目標

女性たちが、手帳を通して、必要な情報を活用し、自分の生活や生き方を主体的にデザインし、自立に向けた一助としていくことを目指す。また、女性たちにとって役立つ情報が生き方のパワーアップや新しい生き方の提案につながっていくことを目指す。

●目標の達成度（自己評価）

女性たちが、手帳をどのように活用していくかは、今後の展開に依拠するところだが、手にとった最初の印象として、多様な情報及び自分情報を書き込むページに対する評価が高く、これらについては期待通りの成果といえる。

さらに、編集委員が、手帳を作り上げていく過程で、さまざまな出会いや経験を通して、力を得て、成長していく姿が確認できた点においては、当初の目標を達成できたものと思う。

●達成できない部分があった場合には、考えられる原因をお書きください。

手帳の完成時期が予定より約1ヶ月遅れた点は大きい。カレンダー部分を含んでいるため、早い時期から来年度の手帳を購入する人が多く、それらの人たちの希望に応えられなかったのが残念である。編集講座のプログラム内容に取材の仕方や原稿の書き方など技術的な内容を盛り込み、編集委員の編集経験の浅さを補えるようにすることができていれば、時間を短縮できたのではないかと思っている。

今回の事業は、団体の活動や、地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

編集委員として参加した女性たちの多くが、男女共同参画はもちろん市民活動などと日常かかわりが少なく、「手帳編集」という呼びかけに魅かれて集まった女性たちである。団体としては、これを男女共同参画の意識を広げる良い機会とし、あわせて人材育成にもつなぐことができた。また、完成した手帳をツールに、女性たちの輪が広がっていることもうれしい成果である。今後、手帳を活用し、編集にかかわった女性たちが中心となって語り合いの場などのワークショップをすすめていく方法を考えている。今後、さまざまな成果・効果が期待できるものと考えている。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。

また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

編集委員各自が持つ力を十分に引き出せたかが課題として残った。個人差はあっても、意欲と努力に応じて力の発揮できるプログラムに配慮すべきだったと思う。人材育成の基本について検討を重ねていくことが課題解決に向けた取り組みであると考えている。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。

また、その際に必要なものは何ですか。

来年度も引き続き「女の手帳 2012 フェミ・ノート」を制作する予定である。誰にとっても、手帳は毎年必要とするものであり、フェミ・ノートを継続して制作することで、定着を図り、支持者を拡大していく計画である。しかし、資金不足は否めない。手帳の販売に努力し、資金を捻出できるようなサイクルを構築したい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内 訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	200,000	
講座参加費	48,000	3,000円×16名
手帳代金	65,400	600円×109冊 (震災のため3月11日現在売上代)
自己負担	73,164	
合 計	386,564	

支出の部

項目	金額（円）	内 訳
講師謝礼	20,000	講習会(デザイン他)10,000円×2
印刷費	321,951	手帳印刷代(版下代込み)315,535 資料印刷、コピー代 他
広報費	5,623	チラシ用紙代4,200円 印刷代 他
会場費・設備借上費	21,900	編集会議、講習会、作業会場代 エル・パーク仙台、サポートセンター
通信費	7,600	チラシ、案内、手帳、礼状 送付代
事務消耗品費	9,490	インク、封筒、用紙他事務用品
合 計	386,564	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

NPOの活動は、草の根の大変地道な活動といえます。しかし、社会的課題の解決に向けた活動である点で、その活動の存在をより多くの市民に伝え、広げていく責任もあり、その手法について、常に工夫を求められていることも事実です。

当団体においても、活動の必要性と継続性を浸透させていく方法として、このたび、手帳づくりに取り組みました。こうした事業は、財源の面で、常に困難が伴い、一歩踏み出せないのが悩みでしたが、助成をいただいて挑戦することができ、手ごたえも感じています。

おかげさまで、来年度は独自に継続発行していこうという団体内部の士気にもつながりました。団体の背中を押してくれた「ろうきん地域貢献ファンド」に感謝します。

ありがとうございました。